

医学系研究に関する情報公開文書

研究課題名	C型肝炎ウイルス駆除後の発癌リスクスコアリングシステムの構築を目指した多施設共同研究
研究責任者	消化器内科 部長 吉田 英雄
研究機関名	日本赤十字社医療センター
研究目的と意義	C型慢性肝炎・肝硬変に対して、インターフェロンを用いた治療だけでなく、インターフェロンを用いない飲み薬のみの治療により、高率にC型肝炎ウイルス駆除を達成することができるようになりました。しかし、C型肝炎ウイルス駆除後も肝発癌を完全に抑えることはできないことが知られています。また、発癌リスクも高い方と低い方がおられ、リスクに応じた経過観察方法を構築することは有用であると考えられます。本研究は、リスクを層別化できる最適なスコアリングシステムを構築することを目的とします。
研究方法	<p>C型慢性肝炎またはC型肝炎硬変で当院にてC型肝炎ウイルスの抗ウイルス療法を受け、1990年4月～2019年12月31日の間にウイルスが消失した患者さんが対象です。</p> <p>この研究は東京大学医学部附属病院を主任研究機関とした多施設共同研究です。</p> <p>これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や画像検査などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。</p> <p>取得する情報は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢 ・性別 ・飲酒量 ・身長、体重 ・ウイルス駆除達成した日とその治療法、治療期間 ・血液検査データ(肝機能、腫瘍マーカーなど) ・糖尿病の有無とその治療法 ・高脂血症の有無とその治療法 <p>この研究のためにご自分(あるいはご家族)のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記まで2022年6月30日までにご連絡ください。</p>
問い合わせ先	<p>日本赤十字社医療センター 消化器内科 〒150-8935 東京都渋谷区広尾4-1-22 担当者：吉田 英雄 TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604</p>